

議題（２）オレンジゆずるバス再編検討分科会について

●第7回オレンジゆずるバス再編検討分科会

◆開催概要

- ・日 時：令和7年2月4日（火）13時～16時
- ・場 所：箕面文化交流センター南館 大会議室
- ・出席者：23名（6人程度/班の4班に分かれて議論）
- ・内 容：
 - ＜説明＞前回（第6回）分科会でいただいた主なご意見への対応方針
 - ＜ワークショップ＞バス停の「維持」、「廃止・統合」、「一部増設」に関しての見直し方針

◆検討テーマ及び結果

- ・【テーマ】バス停の「維持」、「廃止・統合」、「一部増設」に関する見直し方針
→各班の議論・発表から抽出した結果は以下のとおり。

方向性

「維持」を基本とする
(意見)

- ・利用の定着等を考えると1年という短期間でバス停を増減させるべきではない。
- ・北急延伸に伴うゆずるバス再編時のコンセプト（既存バス停を存続）を考えると、今は廃止を考える時期ではない。
- ・定時性について改善されている効果が利用者アンケートなどから確認できているため、現状を維持してもよいのではないか。

その他の意見

- ・現在運行している地域内に市民ニーズがある場所があれば、バス停を増設することで利用者の増加が見込める。
- ・赤ルートで「スカイアリーナ」「オルタナの森」付近にバス停を増設。
- ・「船場西一丁目」や「船場東一丁目」は複数ルートが重複しており、ルートによっては廃止も検討してもよいのでは。
- ・「桜ヶ丘南」を少し南に移設し、交差点付近に移設することで利用者が増えるのではないか。
- ・千里中央に行くルートがほしい。市立病院から乗り継ぎ、割り増しなしで千里中央へアクセスさせれば利用者も増えるのではないか。
- ・止々呂美地区内にもオレンジゆずるバスを運行して欲しい。

第8回オレンジゆずるバス再編検討分科会に向けて

- ・オレンジゆずるバスは路線バスを補完する役割であり、路線バスの見直しを踏まえ、運行内容の検討を進める必要があり、第8回の開催（令和7年4月予定）までに社会実験路線の見直し内容を決めてほしい。